

当施設は残すところ約1ヶ月半で閉鎖を迎えることになります。  
これまでの20年間、お客様や業界関係者の皆さんには大変お世話になり、本当に心から感謝しております。  
閉鎖の告知をした今シーズンですが、変わらないご愛顧のまま、来て下さるお客様への対応をするスタッフは本当に申し訳ないような気持ちと、これまでの感謝の気持ちが入り交じり複雑な思いの中での毎日となっております。純粋な思いで当施設らしく最後まで運営していきますので、どうぞ引き続きご来場をお待ちしております。

閉鎖の告知以降、各種報道機関より取材の依頼がありますが、全て私は断っています。  
しかし、強引に記事にした報道機関がありました。  
案の定、パークゴルフ業界全体が衰退しているかのような内容での記事。  
文面の中には何故か私がしたようなコメントまで記載されていました。  
いい加減な記事で成り立っているこの情報社会に対して、私は本当に呆れて物も言う気がしません。

当施設ごときが閉鎖することで、業界全体が衰退しているかのようなイメージ記事に、いったい何のメリットがあるのか？

北海道全体を衰退に引き入れるような記事に何の意味があるのか？

本当に理解できません。

決してパークゴルフは流行りものではなく、北海道発祥の確立した業界であり、1つの競技であると私は捉えてきました。諸先輩たちが築いてきたパークゴルフという文化を守るためにも、愛好者の皆さんにはこれからも続けて欲しいと思っています。

当施設が閉鎖するのであって、パークゴルフが無くなるわけではありませぬので、皆さんも前向きになっていただければと願うばかりです。

業界への役割や地域社会に対しての責任を、我々は懸命に果たしてきました。  
時には、お客様の心無い言葉に傷つきながら叱咤激励と受け止めながらも、スタッフ全員で運営をしてきました。

このような思いの中で今シーズンの閉鎖は、我々にとっても心苦しい気持ちであります。  
今回の報道に伴った業界全体の影響にも本当に心が痛む出来事になりました。  
報道機関の馬鹿野郎！

取り留めのない文面となりましたが、最近の状況に我慢できず個人的な思いをブログに書かせていただきました。

次はもっと明るい楽しいことをお伝えできればと思います。

えべつ角山パークランド  
日高 淑